



南中だより

12月号

教育目標
よく学びよく習う
心を耕し体を鍛える

働くことは 生きること ~ 君は何のために働くのか ~

人は、何のために働くのでしょうか。

人が働くための主な理由として、次の3つの側面を挙げることができます。

1つは、お金を貰って、生活を支えるための経済的な側面、1つは、自己の成長や能力の向上に繋げたり、やりがいを得たりして生きがいを追求するための個人的な側面、1つは、社会との繋がりや社会や人々への貢献など社会の一員としての役割を果たすための社会的な側面によるものです。

皆さんは、将来、何のために働くと考えていますか。

渋沢栄一翁は、「仕事は個人の利益のためだけではない。世の中や人類全体の幸福、繁栄に貢献することである。単なる労働ではなく、論語と算盤(そろばん)、つまり、道徳と経済の両立を目指すことが、仕事の本質ややりがいを見出す。それが、最終的な幸せに繋がる。」と説いています。

栄一翁は、仕事に対して、社会の一員としての責任を果たすことに主眼を置いています。

では、働くとはどういうことなのでしょうか。皆さんは、働くことをどのようにとらえますか。

渋沢栄一翁は、「人は生まれ落ちてから死ぬまで、社会の一員として、重き責任を負わなければならぬ。その責任とは他事にあらず『働く』の一事である。」と述べ、「働くことは、人間の本質的な営みであり、生きることそのものである。」と説いています。つまり、「働くことは、生きること」なのです。

栄一翁は、働く目的は、「なぜ働くのか」という働く意味を考えることが重要であり、目の前の人を喜ばせることに集中すること、仕事で得た経験を「自分事」として捉えて成長に繋げることこそ、人が、他者に頼るのではなく、自分から進んで働くための原動力になると説いています。

皆さんには、必ず誰かの役に立てる、今はまだ気づかない特徴が備わっています。それを本気で信じてください。自分にも人の役に立つ特徴があると思えれば、自ずと努力する力が湧いてきます。

そして、自分が信じたその特徴を一生懸命に磨いて、それを自分の強みにしてください。

何事においても、自分の興味・関心や価値観である特徴を理解することが、出発点となります。

皆さんが自分の特徴を見つけ、それを自身の強みにして大きく飛躍することを期待します。

人権を尊重し 差別のない社会を目指して

～ふかや・ふれあい人権セミナー～



11月15日(土)の午後、深谷市花園文化会館アドニスにおいて「ふかや・ふれあい人権セミナー」が行われました。



深谷市小中学生人権作文コンクール中学3年生の部において『性差別のない平和な社会へ』と題した手計さんの作文が、最優秀賞を受賞し、その発表と表彰式が行われました。

人が環境を育み 環境が人を育てる

～花＊はなプランへの取組～

11月6日(木)、PTAの生活・環境整備委員の皆さんと美化緑化委員の生徒と職員の協働作業で、学校の花壇を中心に草花の植栽を行いました。



たくさんの樹木と潤いを与える数々の草花に囲まれた南中学校は、豊かな自然に恵まれた環境の中にある学校です。

この豊かさは、長い歴史の中で先人が築いてきたものです。環境の豊かさは、私たち一人一人の心の豊かさに繋がっています。私たちは、この豊かさを大切にいかなければなりません。人が環境を育み、育んだ環境に人が育てられる。

学校・家庭・地域が共に手を携えて、この豊かさを守り続けていきましょう。

忠恕の深谷教育 まごころと思いやり

～銅像お披露目式・「青淵忌」献花式～

青森県三沢市・古牧温泉にあった渋沢栄一翁の銅像が、所有者の寄附により深谷市役所・市民広場に移設され、この度、お披露目となりました。

栄一翁と青森県との縁は、栄一翁が、「三本木渋沢農場」(1952年に解散)の経営に携わったことによるそうです。

同時に、栄一翁の孫である渋沢敬三氏の胸像が、「中の家」に移設されました。

渋沢敬三氏は、17歳の時に栄一翁より跡継ぎに指名され、栄一翁の事業を継承した人物です。

また、彼は、栄一翁の業績について、広く世に広めた人物でもあります。

敬三氏は、戦後の日本経済の重責を担うと共に、文化活動に尽力し、学術団体や多くの研究者の支援を行いました。

栄一翁の銅像は行き交う人々を見つめ、広く深谷市民を見守ってくれています。



働くことの意義について知る

～社会体験チャレンジ事業 職場体験～

11月19日(水)から21日(金)までの3日間、社会体験チャレンジ事業(職場体験)を実施しました。

進路指導・キャリア教育の一環として行われるこの活動は、生徒が働くことの意義について知ると共に、進路選択を考える際の重要な取組の1つになっています。

初めての体験に、生徒は戸惑いを隠せませんでしたが、時間が経過するにつれ、徐々に仕事のコツをつかみ、自発的に活動できるようになりました。

生徒の訪問を楽しみにしていただき、快く生徒を受け入れてくださった事業所の皆さんに深く感謝を申し上げます。生徒一人一人に丁寧なご指導をいただくと共に、生徒を温かく見守ってくださった関係各位に、改めて御礼を申し上げます。



楽しく学び 川越の町で深まる 赤学年の絆！

～1年生 校外学習～

11月20日(木)、1年生の最大行事である校外学習が、「楽しく学ぶ川越の町 赤の絆を深めよう」のスローガンのもと、小江戸・川越を舞台にして行なわれました。小江戸と呼ばれる川越には、名所・旧跡がたくさん存在しています。

教科書だけでは学べない歴史や文化に直接触れ、街並みや雰囲気を肌で感じることを通して、生徒は学びと共に、友だちとの絆を一層深めていました。



12月の主な行事

※ 予定は、変更になる場合があります

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	月	1・2年期末テスト(5科) 市長と語る会 ステップアップレッスン(SUL)全学年	16	火	第2回学校保健委員会「食育セミナー」(14:40~)
2	火	後期人権集会	17	水	期末短縮
3	水	学年朝会 1年福祉体験学習	18	木	期末短縮
4	木	第2回学校運営協議会(13:30~)	19	金	給食最終日 SUL3年
5	金	花の郵便屋さん引継ぎ式(15:00~)	20	月	期末短縮
8	月	小中特支合同学習会	21	火	期末短縮 大掃除・ワックスがけ
9	火	SUL3年	22	水	2学期終業式 花の郵便屋さん配達
10	水	登校指導日	23	木	3年記録通知書配付
12	金	SUL全学年	24	金	3年記録通知書問合せ(9:00~正午)
14	日	3年三者面談(必要者)	25	木	冬季休業日
15	月	3年実力テスト	26	金	冬季休業日
		SUL3年	27	月	冬季休業日
		青少年健全育成深谷市民大会「中学生の主張」	28	火	冬季休業日
		薬物乱用防止教室	29	水	冬季休業日
		SUL全学年	30	木	冬季休業日
			31	金	冬季休業日